

令和８年度 事業計画書

（令和８年４月１日から令和９年３月３１日まで）

I. 事業の概要

本事業年度においても、助成事業を中心とする公益事業を実施し、公益財団法人としての設立趣旨を適切かつ効率的に達成するため、必要な事業内容および運営体制の充実を図る。

II. 事業の内容

1. 研究開発助成事業（公募事業）

金型技術および金型を活用した成形技術等に関し、独創的な研究開発を行う研究者または研究機関に対し、研究に要する直接経費を助成する。

助成は、１件当たり２００万円以内および５００万円以内の２区分とし、助成件数は２００万円以下５件、５００万円以下１～２件、合計６件前後を予定する。

（研究開発助成事業／予算額：１，５００万円）

2. 技術交流支援および技術者育成支援事業（公募事業）

金型および成形技術に関する研究を行う若手技術者が、国内外の関係機関との技術交流（国際会議等の開催支援を含む）に参加する際の費用について助成を行う。また、若手技術者・技能者を対象に、技術および技能の教育・育成を目的とした事業への支援を実施する。

事業規模は、海外技術交流１～２件（総額５０万円）、金型関連国際会議への助成については国際会議開催助成１件（３０万円）に加え、令和９年４月開催予定のFADMA（アジア金型工業会）の総会開催準備助成１件（１００万円）、技術者育成支援として４件（１５４万円）を見込む。（尚、FADMA総会については日本金型工業会より内示あり）

（技術交流・技術者育成支援事業／予算額：３３４万円）

3. 表彰事業（公募・推薦事業）

金型技術分野において特に優れた技術開発者、ならびに金型産業の発展に顕著な貢献をした者を顕彰し、金型技術および金型産業のさらなる発展を図る。

本事業は、一般社団法人型技術協会との共同事業として実施し、同協会主催の「型技術者会議」において表彰を行う。

（表彰事業／予算額：１５０万円）

4. 調査・情報提供による普及啓発事業（自主事業）

（１）助成研究成果報告会の開催

令和６年度に助成採択され、令和７年度に実施された研究テーマの成果を論文集として取りまとめ、金型関連の研究者、企業技術者および学生を対象とした研究成果報告会を開催する。

本報告会は、不特定多数の参加者が研究成果を共有し、その活用促進および関係者間の情報交換を通じて研鑽を深める場とする。

（調査・情報提供事業／予算額：２００万円）

〔内訳：会議費１２０万円、要旨集印刷費３０万円、交通費・講演費等５０万円〕